#### 三重森林管理署で中学生の職場体験を受入れ

亀山市では、6月4日(月曜日)から6月8日(金曜日)の間、市内各事業所等で中学生の職場体験が行われており、三重森林管理署では5名の中学生(亀山中学4名、中部中学1名)を受入れました。

8時30分から16時まで5日間の職場体験で、初日の6月4日(月曜日)は、はじめに署長から三重森林管理署の事業概要や管内国有林について話を聞き、次長から近畿中国森林管理局の概要説明と安全指導を行い、歩行時の注意事項や刃物の取扱い、ハチ・ダニなどの危険な生きものの対処法などを学びました。

昼前に署を出発し、福王山国有林(菰野町)で今年の春に新植した箇所のシカ防護柵の 点検を行いました。傾斜のある山を登り、新植箇所の周囲に張られたシカ柵が破れてい ないかなどを点検しました。



福王山国有林の新植箇所



新植箇所の点検



シカ柵点検

5日(火曜日)は、治山事業の現場がある入道ヶ岳国有林(鈴鹿市)に行き、山腹工事箇所を見たあと、山の現状を把握するために使用しているドローンの操縦体験もしました。また、現地の谷でポール横断測量とレベルによる水準測量を行い、署に戻ってから測量したデータで谷止めの図面を作成しました。



入道ヶ岳国有林の山腹工事現場



ポール横断測量



ドローン操作体験



ドローンからの映像

6日(水曜日)は、青岳国有林(伊賀市)で梅雨入りした雨の中、国有林沿いの道路に投棄された瓶・缶などゴミの回収を行い、大きな袋2つにいっぱいのゴミを集めました。 午後からは、毎年森林環境教育のイベントで使っている焼尾国有林(伊賀市)の遊々の森で、案内看板の周囲の草を下刈鎌で刈り払いをしました。



青岳国有林沿いでのゴミ回収



大きな袋2個分のゴミを回収



看板周囲の草刈作業



草刈を終えて集合

7日(木曜日)は、木の伐採・搬出を行っている悟入谷国有林(いなべ市)の現場に行き、 林業機械や運搬車両などを使った搬出作業を見学し、事業者の代表から山の仕事の魅力 など、いろいろな話を伺い、林業機械の操縦席に座らせてもらい操作の体験もしました。 午後からは、ノコギリを使い人工林の枝打ちを行いました。



悟入谷国有林の生産現場



操縦席で操作体験



伐採について説明



枝打ち作業

8日(金曜日)は、これまでの作業や体験をひとりひとりに発表してもらうため、午前中は若手職員の指導を受けてパソコンでパワーポイントによる発表用資料を作成し、午後から中学校の先生や職員が見守る中、5名の中学生それぞれから5日間の体験を発表してもらいました。

まとめでは、「これからもっと自然について考えたい」「木は長い時間をかけて育てられ、林業の大変さを知った」「山にゴミを捨てない」など、体験から学んだことが発表され、5 日間の職場体験で森林や林業について、多くの学びがあったと感じました。

また、5 日間の中でゴミ捨て禁止の注意ポスターも作成してもらい、三重森林管理 署の玄関に掲示しました。このポスターは、来年度現場に掲示することにしています。



パソコンでまとめ作業



体験をみんなの前で発表



三重署玄関前でポスターと記念撮影

## 職場体験で行ったこと

- 一日目 福王山国有林 新植筒所や鹿柵の点検
- ・二日目 入道ヶ嶽国有林 治山の見学 ドローン操作
- 三日目 青岳国有林 焼尾国有林 ゴミ拾い 看板周辺の草刈り
- 四日目 悟入谷国有林生産現場の見学 枝打ち体験

## 職場体験で学んだこと

職場体験で行ったことについて

## 印象に残った体験

・ 二日目のドローン操作 操作方法は右手側が左右と 上下 左手側が旋回と 前後の操作



## 印象に残った体験2

・ポール横断測量

ポール横断は一本のポールを 地面に垂直に立てもう一本の ポールを地形が変化している ところから平行に伸ばして縦と

横の長さを求めること

## っ一本の している ばして縦と

# 四日間の作業、体験を通して 学んだこと

- 山にゴミを捨てる人がたくさんいること
- 森林管理署が国有林を管理していること
- ・ 鹿柵やツリーシェルターなどを活用してスギャレノキを守っていること
- 木が二酸化炭素を吸って酸素を出してくれていること



# 四日間の作業、体験を通して 感じたこと

- 山にゴミを捨てたくないと感じた
- 山を登ってみていろいろなものを見て教えて もらいたくさんの道具を活用してたくさんの木 を守っていること 木をとても大事にしている しまじた。





## 職場体験

~4日間で学んだこと~

## 4日間で体験したこと

1日目 鹿柵点検

2日目 治山見学

3日目 森林整備(ゴミ拾い・草刈り)

4日間 生産現場見学(枝打ち体験)

## 治山見学-1

ポール横断測量をおこないました。ポール横断測量とは2本のポールを使い山の谷の形を測る作業のことです。

具体的には中心を決めて左右の変 化点ごとに水平距離と垂直距離を 測ることで地形を図面に起こしてい く作業のことです。



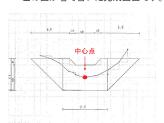
## 治山見学-2

山から帰り、署で1/100の縮尺で 図面を書きました。



## 治山見学-3

左の図が署で書いた完成図面です。下の写真が実際のイメージです。





## 生産現場見学(枝打ち体験)-1

枝打ちとは節のない木材を生産すること等を目的に、立木の枝を切り落と す作業です。

枝打ち体験は楽しかったです。



#### まとめ・感想

4日間の体験をしていろいろな事をさせていただきました。山を登らしてもらっ たりドローン、重機などの操作をさせていただきました。いろいろな体験をでき るのも、この職場のみなさんのおかげです。重機などの操作には緊張しました が、ぼくはすごくいい経験をしたと思いました。





## 三重森林管理署 ~職場体験を通して~



## 4日間の日程

- 1日目 植栽箇所鹿柵点検(福王山国有林)
- 治山現地見学(入道ヶ嶽国有林) • 2日目
- 3日目 ゴミ拾い、草刈(焼尾国有林)
- 生産現場見学、枝打ち体験 4日目 (悟入谷国有林)

印象に残ったこと

15

#### ・ 重機の操縦体験

グラップルを操縦させてもらい、 アームの操作などが複雑でとて

も難しかったです。 他にも、ザウルスなどのとて も大きな重機が動いているのを 見てとても迫力がありました。

#### ・ 枝打ち体験

.

でなりら4級 僕は、枝打ち体験の時にノコギ リの安全な使い方を学びました。 その後、安全な使い方をしっ かり守り、枝打ち作業をするこ とができました。





## その他の高性能林業機械









## ~職場体験を通して~

この5日間を通して三重森林管理署がしている仕事について知ることができました。 樹木は長い時間をかけて育てられていることを知って林業は大変だと思いました。 ゴミ拾いをしてみて道端にポイ捨てをする 人が多くてとても驚きました。

今後、ごみをポイ捨てせずに自然を大切に していこうと思いました。



19



#### 四日間で行ったこと

6月4日	福王山国有林 菰野町	魔柵の点検
6月5日	入道ヶ嶽国有林 鈴鹿市	治山の現地見学・ドローン操作
6月6日	焼尾·青岳国有林 伊賀市	ゴミ拾い・草刈り
6月7日	悟入谷国有林 いなべ市	生産現場見学・枝打ち





#### 印象に残っている体験

ドローン操作

木にぶつけたり、落としたりしそうで緊張した。

ドローンを使うと・・・

人が行けないところの撮影ができる。

个急斜面、見えないところなど







#### 印象に残っている体験2

• 枝打ち

節のない木材にするのに必要な作業。 のこぎりで枝を切るのが楽しかった。 作業前と作業後で林内の様子が だいぶ違ったので、達成感があった。







#### 職場体験を終えて

- 1日目暑い中、鹿柵を点検しながら山を登るのは、辛かったが登りきったときの景色は良かったからいい仕事やなぁと思った。
- ・2日目 治山現場はとても急でワイヤーでロッククライミングマシーンという 性能がいい機械を使って作業をしていた、少し怖かった。
- ・3日目 ゴミ拾いはゴミが結構多くて取りにくいところにも沢山あった。 良いことがないのになぜ捨てるのかなぁと思った。
- 4日目 グラップルに乗った時に操作が難しかった。

今後、無駄なく木を使っていこうと思った。



#### 5日間 ありがとうございました

## 4日間を振り返って

~森林を管理する~

#### 職場体験日程

- ■1日目 苗木とシカ柵の点検
- ■2日目 治山の見学とドローンの操作
- ■3日目 ゴミ拾いと草刈り
- ■4日目 現場見学と重機、枝打ち体験



#### ■ 1 日目

福王山国有林に登った。 日向は暑かったが林内は涼しかった。 山を下る時は足元が滑り大変だった。 スギとヒノキが植栽されていて、木の違いが分かった。

2日目 ドローンを操作した。 操作が簡単だったので楽しかった。 色々な写真がとれたので凄かった。



#### ■ 3 日目

鎌を使って草刈りをした。 背丈の高い草がきれいに刈れて気持ちよかった。

■ 4日目

重機に乗らせてもらった。 重機を操作することはとても面白かった。 色々な凄い重機があり、面白かった。





#### 4日間のまとめ

今回の作業、体験を終えて

国有林の管理には、森林管理署の人や工事現場の人な ど多くの人が携わっていることが分かった。

これからはもっと自然のことを日々考えながら生活していきたい。

